

児童発達支援事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 令和 3年 4月 12日

公表: 令和 3年 4月 13日

事業所名 健生神沢こども発達支援室

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|--------|----|-----|------------------------------------|--------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | ○ | | 10人でも余裕のある空間がある | |
| | 2 | ○ | | 基準の人数より多く配置しより手厚く支援、指導できるようにしている | |
| | 3 | ○ | | 何事も自分でできるように位置高さ場所を配慮して設置してある | |
| | 4 | ○ | | 毎日必ず清掃を行い適宜塩素等を使用して床の消毒を行っている | |
| 業務改善 | 5 | ○ | | 毎月指導計画を職員間で作成共有している | |
| | 6 | ○ | | | |
| | 7 | ○ | | ホームページ上で公開している | |
| | 8 | | ○ | | 3年後を目途に実施予定 |
| | 9 | ○ | | 各種研修を案内し参加を促している。研修費交通費の全額及び一部を補助 | 全職員に保育士資格取得を目指す |
| 適切な支援の提供 | 10 | ○ | | 6か月に一度保護者と面談を行い課題やニーズを共有している | |
| | 11 | ○ | | 誰でも分かるよう簡潔な内容となっている | |
| | 12 | ○ | | | |
| | 13 | ○ | | | |
| | 14 | ○ | | 月間指導計画を関係職員で必ず作成している | |
| | 15 | ○ | | 前月の反省を踏まえてプログラム内容を変えている | |
| | 16 | ○ | | 月間指導計画の中で集団・個別目標を設定し支援を行っている | |
| | 17 | ○ | | 月間指導計画の中で大まかに内容把握し朝夕のミーティングで共有している | |
| | 18 | ○ | | ミーティングノートに記録している | |
| | 19 | ○ | | 体調、様子を毎日記録している | |
| | 20 | ○ | | 6か月に一度支援会議を行いその中で見直している | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|--------------------------------------|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | 基本的には児童発達支援管理責任者が全てに参画している | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | | | 該当なし | |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | | 該当なし | |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | | 該当なし | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | | | 該当なし | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | 文章や電話でのやり取りを行っている | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | 児童部会の中で行っている | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | ○ | | グループ内の保育園児との交流を盛んに行っている | |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | ○ | | 必ず参加している | |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | 送迎時に必ず保護者と状況や課題を伝えあっている | |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | ○ | | 送迎時もしくは求めに応じ行っている | |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | 契約時に丁寧に説明している | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | 送迎時に必ず保護者と話す機会を設け依頼があれば別途時間を設け実施している | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | ○ | | 現在は行っていないが過去に進学説明会や親子教室、食事会を開催していたため、再び実施する機会を考えている |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | 迅速に対応している | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | ホームページやメールを通じて発信している | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | | |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | 信頼関係を築き何でも話せる関係を築くようにしている | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | | 今後検討していきたい |

| | | | | | |
|---------|----|--|---|----------------------|----------------|
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | 保護者への周知を徹底していく |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | 食料も備蓄してある | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | 発生した時点ですぐに作成し共有している | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | 該当者なしだが契約書に記載し説明している | |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等向け

児童発達支援評価表

児童数9 回収7 回収率78%

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 |
|--|---|----|---------------|-----|------------------------|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 3 | | | 4 | ・あまり室内を見たことがないためわからないにしました |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 6 | 1 | | | ・どのような専門職の方がいるのかわからない ・職員さんも多く手厚いと思います |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ i になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 6 | | | 1 | |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 7 | | | | ・きれいで安全だと思います |
| 適切な支援の提供 | 5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ ii が作成されているか | 7 | | | | |
| | 6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 6 | 1 | | | ・支援に必要な項目が具体的でわかりやすかったのですが数が少ないかなと思いました |
| | 7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 7 | | | | |
| | 8 活動プログラム※ iii が固定化しないよう工夫されているか | 4 | 3 | | | ・平日の内容がよくわからない |
| | 9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 7 | | | | ・色々な子とたくさん関わらせてもらえております ・保育園の子もよく声をかけてくれます |
| 保護者への説明等 | 10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 7 | | | | ・丁寧に説明していただきました |
| | 11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか | 7 | | | | ・丁寧に説明していただきました |
| | 12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※ iv 等)が行われているか | 3 | 1 | | 3 | ・送迎時等によく相談していただきます |
| | 13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか | 5 | 2 | | | ・送迎時等によく相談していただきます |
| | 14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 7 | | | | ・送迎時等によく相談していただきます |
| | 15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 1 | 2 | | 4 | ・送迎時等によく相談していただきます ・特に必要とは思わない |
| 16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 6 | 1 | | | ・相談の申し入れをした事がないのでわからない | |

| | | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|--|---|-----------------------------|
| | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 7 | | | | ・しっかりとしたシステムで情報管理されていると感じます |
| | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 5 | 1 | | 1 | ・しっかりとしたシステムで情報管理されていると感じます |
| | 19 | 個人情報の取り扱いに十分注意されているか | 7 | | | | ・しっかりとしたシステムで情報管理されていると感じます |
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。 | 6 | 1 | | | |
| | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 7 | | | | |
| 満足度 | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 7 | | | | ・楽しんでます |
| | 23 | 事業所の支援に満足しているか | 7 | | | | |

※ i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※ ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※ iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※ iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....
(保護者の皆様へ)

○この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。